

三重県鈴鹿市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

| 区分 | 令和元年度～ 令和4年度 | 令和5年度 | 計 | 令和5年度末 時点の活用率 | 未執行額の活用方針 |
|--------|-----------------|------------|-------------|------------------|----------------------|
| 活用額（円） | 21,683,084 | 25,669,664 | 47,352,748 | 47% | 森林整備及び市内公共建築物等への木材利用 |
| 譲与額（円） | 75,278,000 | 26,536,000 | 101,814,000 | | |

■令和5年度の具体的な活用状況

| 区分 | 事業区分 | 事業費（円） | | 事業内容 |
|------|--------------------|------------|---------------|--|
| | | | うち 森林環境譲与税 | |
| 森林整備 | 森林経営管理事業 等 | 19,142,152 | 19,142,152 | 森林経営管理事業（意向調査・境界明確化・林分調査・集積計画の策定・間伐）等を実施。 |
| 人材育成 | ドローン操作員養成 講習会参加 | 174,000 | 174,000 | 森林情報の取得を目的としたドローンの活用において、適切な運用・操作を学ぶための講習会に参加。 |
| 木材利用 | 公共施設木材利用事業 | 6,353,512 | 6,353,512 | 公共施設において木製品を設置し、木材利用の推進を図る。 |
| | 基金積立 | 866,336 | 866,336 | 森林環境基金積立 |
| | 合計 | 26,536,000 | 26,536,000 | |

■今後の実施計画

①森林経営管理制度に基づく森林整備の実施

森林整備による公益的機能の効果的な発揮が期待できる山間部を優先的に意向調査を実施。令和7年度完了予定。
順次境界明確化、集積計画の策定、森林整備を実施し未整備森林の解消につなげていくこととしている。

②三重県産材利用の促進

木材を利用することで、未来につながる森林の持続的なサイクルが保たれます。

| | 予定額（円） |
|-------|------------|
| 令和6年度 | 24,169,000 |
| 令和7年度 | 9,460,000 |
| 令和8年度 | — |

「伐って、使って、植えて、育てる」



●令和5年度森林環境譲与税の使途公表



| 事業名 | 事業内容 | 事業費(千円) | 効果(総括) |
|---|--|---------|---|
| ドローン操作員養成講習会参加及び保険料 | 森林情報の取得を目的としたドローンの活用において、適切な運用・操作を学ぶための講習会に参加。また、ドローンの各種保険料。 | 174 | ドローンの適切な操作・運用方法を習得することで、人の立ち入り困難な森林における現況把握等が可能となった。 |
| 森林経営管理事業大久保地区標準地調査業務委託 | R4年度に境界明確化した森林について、標準地調査を実施する。 | 1,309 | 経営管理権集積計画策定に必要な資料が整った。 |
| 経営管理権集積計画策定支援業務委託 | 経営管理権集積計画の同意取得に当たり、森林所有者から詳細説明を求められた際の支援業務。 | 66 | 経営管理権集積計画について、5名からの同意が得られ、計画を策定できた。 |
| 森林地番図作成業務委託 | 森林経営管理事業を効率的に実施するため、森林地番図を作成する。 | 5,940 | 新たに2567筆、約630.9haの森林地番図を作成したことで、森林の経営管理意向調査の基礎資料が整った。 |
| 森林経営管理制度意向調査業務委託 | 庄内地区の森林所有者へ森林経営管理について意向調査を実施する。 | 1,160 | 意向調査の結果、68名の委託希望があり次年度以降の森林整備箇所把握につながった。 |
| 森林整備(間伐)委託 | 経営管理権集積計画を策定した森林について、森林整備(間伐)を実施する。 | 4,070 | 8.23haの間伐を実施した。 |
| 森林環境創造事業(市単事業) | 所有者、森林組合及び市の3者で環境林として協定を締結している森林において、下刈り及び調査を実施する。 | 693 | 環境林整備を行うことにより、環境林としての公益的機能を将来にわたって発揮させることができる。 |
| 林道維持管理事業 | 林道御幣線及び平の谷線における安全通行を確保するため、舗装修繕等を実施する。 | 5,904 | 林道利用者の安全を確保することができた。 |
| 公共施設木材利用事業 (コミュニティ消防センター) (鈴鹿市立図書館) (白子コミュニティセンター) (天名複合施設) | (コミュニティ消防センター) ・会議用机 | 1,542 | 施設利用者等に、木材の持つ温かさを感じてもらい、木に触れ合える場を提供することができた。 |
| | (鈴鹿市立図書館) ・書架 | 1,880 | |
| | (白子コミュニティセンター) ・会議用机 (天名複合施設) ・会議用机 ・椅子 ・ロビーベンチ ・パンフレットスタンド ・コーナースツール | 2,932 | |
| 森林環境基金積立 | | 18,010 | 次年度以降の森林整備等のために基金として積み立てた。 |
| 合計 | | 43,680 | |

なお、三重県から交付される「みえ森と緑の県民税市町交付金」とは、使途を棲み分けたくうえで双方を有効に活用しています。

◆木材利用



(鈴鹿市立図書館)



(コミュニティ消防センター)



(天名複合施設)



◆森林整備



森林整備(間伐)委託



森林整備(間伐)の効果



間伐前



間伐後

林道維持管理事業

落石



撤去前



撤去後

倒木



撤去前



撤去後